

【公開授業】外国語活動学習指導案  
 日時：令和元年 2月 4日（木）  
 学級：4年  
 授業者：

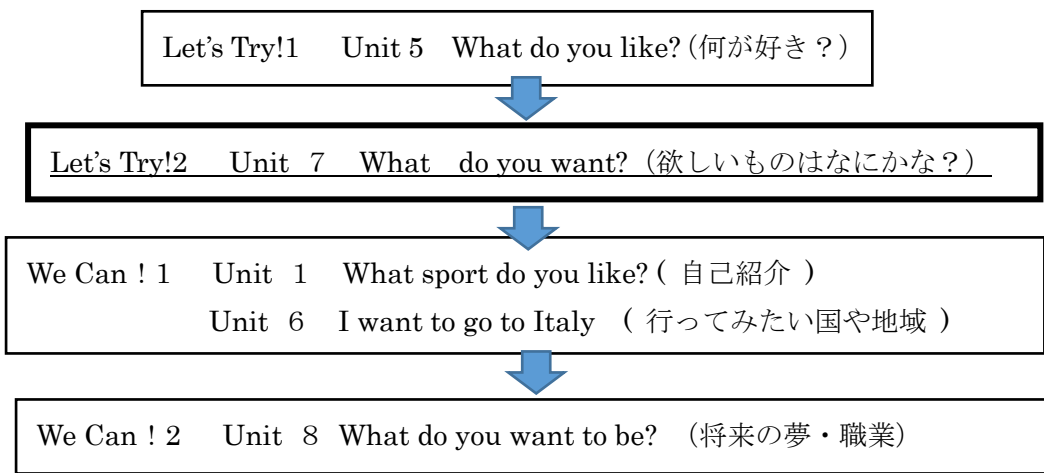
単元の目標

- ・食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。
- ・欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニュー紹介し合う。
- ・相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。

単元の評価規準

知識・技能	思考力、判断力、表現力	主体的に学習に取り組む態度
・食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。	・自分が欲しい品やいくつ欲しいのかを伝えたり、それに答えたりすることができている。	・相手が何が欲しいのかなど気持ちに配慮しながら伝え合おうとしている。

資質能力の育成に係る系統性



時	単位時間の目標（全4時間）	評価規準
①	・食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 ・世界の市場の様子を見て様々な食材がある事、身近な食べ物もあることを知る。	・欲しいものを尋ねたり答えたりしている <b>【知】</b>
②	・オリジナルメニューをつくるために、買い物の場面で必要な食材についてやり取りする。	・ピザの好きな具材（野菜や果物）を尋ねたり答えたりしている。 <b>【知】</b>
③	・相手に配慮しながら、自分のオリジナルピザを紹介しようとする。	・自分が気に入っている学校内の場所とその理由を伝えている。 <b>【思】</b>
④ 本時	・「みんなを元気にする野菜と果物フェアを開こう」で、オリジナル食材について欲しい物を尋ねたり答えたりして伝え合う。	・相手に配慮しながら、校内を案内しようとしている。 <b>【主】</b> ・自分が好きな場所とその理由を伝え合っている。 <b>【思】</b>

<p>1 単元名 「What do you want?」Let's Try!2 Unit 7 「みんなを元気にする野菜と果物フェアを開こう」</p> <p>2 児童の学力の状況 本学級の児童は、6月の総合学力調査の結果、応用では、国語・算数共に前年比は上回っているが、基礎問題になると下がる傾向にある。また高知県学力定着状況調査でも、国語の「話す・聞く」の項目において、相手や目的を意識した表現に課題が見られる。これまで、授業のペア学習やグループ学習では、学び合いを行ってきたが、自分の考えを自分の言葉で伝えることに抵抗がある児童が少なくない。場面によっては、発表者も偏り気味である。そこで「学習の十か条」や「言語わざ」でねらいをもって取り組み、友達の意見に反応しながら聞いたり、友達の意見と自分の考えを比べながら話したりすることを意識できるよう取り組んでいるところである。</p> <p>3 教材観 本単元は、外国語活動の中学年の目標(2)「身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う」にあたり、これは中学年の外国語活動で、身近で簡単な事柄について音声で十分にコミュニケーションを図っておくことが高学年以降の外国語学習の動機付けとなり、更に話題を広げてコミュニケーションを図ることにつながっていくので、ここで十分に伝え合う体験をしておくことが必要となる。 本学級の児童は、3年では「What do you like? (何が好き?)」で、好きな色や形をたずね合ったり、Unit5「Do you have a pen?」で、筆箱の中に入っている文房具について名前や数を聞き合ったりする学習をしている。これまで児童は外国語で伝え合う活動を楽しみながら学習してきているが、様々な表現やジェスチャーを使って伝えるところに至っていない。 そこで、本単元では、「みんなを元気にする果物やフルーツを使った品を考え、フェアを開こう」という単元ゴールを設定し、欲しいものを注文したり、注文を聞き分けたりなどの活動によって、相手を意識し尊重したコミュニケーションの仕方を取ってできるように進めていきたい。 本時では、果物や野菜のショップを自分たちで考え工夫することで、より主体的な活動になるようにした。そして、進んで注文を受けたり、欲しい品を注文したりする活動を、全員が役割を意識して積極的に活動する中で、ゴールを意識したつながりのある活動にしていく。また、コミュニケーションを積極的に行うことができるよう「Good point」を提示し、相互評価を取り入れることで、児童の主体性や達成感にもアプローチしながら、本単元のねらいにせまりたい。</p>	<p>4 本時の目標 「みんなが元気になる野菜と果物フェア」を成功させよう。</p> <p>5 評価規準 欲しい品物の材料(野菜や果物)を尋ねたり、要求したりする。【思】</p> <p>6 本時の展開(3/4)</p>	<p>本時で扱う言語材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>What do you want? I want (potatoes), please.</li> <li>How many? (two), Please. Here you are. Thank you.</li> </ul>										
<p>導入 14:25</p> <p>課題設定 14:35</p> <p>14:38</p> <p>ペア活動 14:45</p> <p>14:55</p> <p>振り返り 15:05</p>	<p>学習展開 ・本時における願う児童の姿</p> <p><b>Greeting</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はじめのあいさつをする。</li> <li>ペアでやり取りをする。</li> </ul> <p>① How are you? I'm~. ② How is the weather today? It's ~. ③ What time is it? It's~.</p> <p><b>Feedback</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前の時間に学習したことをペアで振り返る。</li> </ul> <p>欲しい品物を積極的に尋ねたり、答えたりする。</p> <p><b>Today's goal &amp; point</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今日の課題と学習の流れ、コミュニケーションポイントを確認する。</li> </ul> <p>どんどん注文を受けたり注文したりして、コミュニケーションをとろう。 コミュニケーションポイント: clear voice, reaction</p> <p>復習(5分) 活動①(8分) 活動②(10分) 振り返り(3分)</p> <p><b>Review</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お客にほしい品を尋ねたり、注文したりする時に必要な表現を聞いたり言ったりする。</li> </ul> <p>・Let's Chant (School Chant)</p> <p><b>Activity①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HRTとALTのデモンストレーションを見てやり取りの仕方を確認する。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="937 1037 1786 1339"> <tr> <td>A: Welcome.</td> <td>B: Hello.</td> </tr> <tr> <td>What do you want?</td> <td>I want ( ) please.</td> </tr> <tr> <td>How many?</td> <td>( ) please.</td> </tr> <tr> <td>Here you are.</td> <td>Thank you.</td> </tr> <tr> <td>Thank you.</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>お店でのやり取りをペアで言い合う。</li> </ul> <p><b>Activity②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループに分かれ、お店屋さんの準備をする。</li> </ul> <p>Good point 売る人: 声を張ってはっきりと伝えている。 買う人: ほしい物や数をはっきり伝えることができている。</p> <p><b>Feedback</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の振り返りを書く。</li> </ul>	A: Welcome.	B: Hello.	What do you want?	I want ( ) please.	How many?	( ) please.	Here you are.	Thank you.	Thank you.		<p>・願う児童の姿に迫る手立て ◇ 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時までに学習した学習の足跡(ファイル)から学習内容を振り返るようにする。</li> <li>単元計画を掲示しておき、児童と共有する。</li> <li>今日は野菜と果物フェアを開き、お客さんを意識して迎えることを確認しておく。</li> <li>ALTとジェスチャーを交えて楽しくやり取りをする様子を見せる。</li> <li>お客さんとのやり取りの中でほしい言葉をリアクションカードで用意しておく。(例) ・Something else? (他には?) ・Sorry. (すみません。) ・How about ( )? (~はいかがですか?)</li> <li>言いたかったけど言えなかった表現を取り上げ、共有する。</li> <li>今日の「Good point」を確認する。</li> <li>◎ 欲しい品物の材料(野菜や果物)を尋ねたり、要求したりする。【思】</li> <li>ALTに評価をもらう。</li> </ul>
A: Welcome.	B: Hello.											
What do you want?	I want ( ) please.											
How many?	( ) please.											
Here you are.	Thank you.											
Thank you.												